

千葉県夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）発

2026年7月14日 配信 **[夷隅感染症情報]（2026年 第7報）**

1 2026年 管内の感染症発生状況（管内居住の患者数）

● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	累計（2026年）	2026年6月分
1 類感染症	0	0
2 類感染症	6（結核）	0
3 類感染症	0	0
4 類感染症	3	0
5 類感染症 （※管内医療機関からの届出数）	2	0

● 夷隅管内一医療機関あたりの5類定点報告数

疾 患 名 （急性呼吸器感染症 及び小児科定点疾患）		一定点医療機関あたりの報告数			
		24週	25週	26週	27週
1	インフルエンザ	0.25	0.25	0.25	1.5
2	COVID-19	0.25	1.75	3.5	4.75
3	急性呼吸器感染症（ARI）	80	80	68.25	86
4	RSウイルス感染症	0.0	0.3	0.0	0.7
5	咽頭結膜熱	0.0	0.0	0.0	0.0
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.7	2.3	2.3	1.7
7	感染性胃腸炎	0.3	0.0	0.3	0.0
8	水痘	0.0	0.0	0.3	0.0
9	手足口病	0.3	0.3	0.0	0.0
10	伝染性紅斑	0.0	0.0	0.0	0.0
11	突発性発しん	0.0	0.0	0.0	0.0
12	ヘルパンギーナ	0.0	0.0	0.0	0.0
13	流行性耳下腺炎	0.0	0.0	0.0	0.0

24週：6/8～6/14 25週：6/15～6/21 26週：6/22～6/28 27週：6/29～7/5

● 夷隅管内感染症集団発生施設数

	新型コロナウイルス感染症		インフルエンザ		感染性胃腸炎		疥癬	
	累計	6月	累計	6月	累計	6月	累計	6月
医療機関	0	0	0	0	1	0	0	0
老人保健施設	0	0	0	0	0	0	1	1
特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0

【トピックス】

○麻しん届出に関するハンドブックを確認してください！（医療機関向け）

夷隅感染症情報7月号の発行時点で、夷隅保健所管内では、麻しん報告はありませんが、今一度ハンドブックを確認し、平時からの準備をよろしくお願いします。

★麻しんを疑ったら夷隅保健所への連絡と検体採取をお願いします。

麻しんの病原体診断には以下の**3点の検体**が必要になります。

検体の種類	採取量	採取容器	紫色のキャップ
血液	2～5 ml	密封できるEDTA またクエン酸入り試験管	
咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒 1 本	密封できる滅菌スピッツ	
尿	10～20 ml	密封できる滅菌スピッツ	

詳細は夷隅保健所 HP に掲載されている「医療機関向け麻しん届出に関する ハンドブック」をご確認ください
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-isumi/kansenshou/documents/mashin-handbook.pdf>

○疥癬に注意しましょう！

夷隅保健所管内では、6月に疥癬の集団発生が1件ありました。

＜特徴＞

疥癬の病原体となるのは、ヒゼンダニというダニです。疥癬には通常疥癬と角化型疥癬の2つのタイプがあります。通常疥癬と比べ角化型疥癬は感染力が強いのが特徴です。

＜症状＞

感染後、約1～2か月の潜伏期間を経て、かゆみ・赤い発しんなどの症状が現れます。また、疥癬トンネルと皮膚の手のひらや手指間に見られる線状の皮疹が見られます。

★ステロイド剤での治療は、逆効果となるので、使用しないでください。

＜感染予防対策＞

通常疥癬と角化型疥癬で感染予防対策が異なります。

通常疥癬: バスマットやタオルの共有しない、シーツ衣類の交換類、おむつ等を容器に入れ運搬

角化型疥癬: 上記に加え

1～2 週間の個室管理、洗濯前の熱処理(50℃以上、10 分)、入浴は最後

★施設内において疥癬の対策マニュアルがない場合は

「**地域ケアにおける疥癬対応マニュアル**」を参照ください。

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/2025-02-28-184115-274>

国立健康危機管理研究機構: <https://id-info.jhs.go.jp/infectious-diseases/scabies/index.html>

★別添のリーフレットに疥癬の詳しい内容を記載しております。

○腸管出血性大腸菌に注意しましょう！

★**食中毒注意報**が発令されていますが、今後**食中毒警報**も発令される可能性もあります。腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素を産生する大腸菌を病原体とする感染症です。

＜症状＞

発熱と腹痛、水様便、血便などの症状の他、小児や高齢者の多くは、溶血性尿毒症症候群(貧血、腎機能低下)を引き起こし、脳症(けいれん、意識障害)を併発する可能性があります。

＜予防＞

感染原因として、牛肉や牛レバーなどに限らず、レタスやキャベツなどの生野菜の他、動物との接触もあります。**100 個ほどの少ない菌量**でも感染が成立するため、ヒトからヒトへの糞口感染などで感染が広がりやすいのが特徴です。

- ・調理や食事をする前の石鹸を用いた手洗いや手指消毒
- ・生肉を扱う用の箸、食べる用の箸の使い分け
- ・75℃で1分以上の十分な加熱処理
- ・次亜塩素酸を使用した食品や調理器具の消毒

★食中毒の3原則 ・菌をつけない・増やさない・やっつける

症状が疑われる場合、かかりつけの医療機関への受診をお願いします。

厚生労働省: <https://www.mhlw.go.jp/content/000864892.pdf>

国立健康危機管理研究機構: <https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/enterohemorrhagic-escherichia-coli-infection/index.html>

○千葉県が発生状況については下記ホームページを参照してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

(千葉県感染症情報センター)

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

＜配信元＞千葉県夷隅保健所 【お問い合わせ先】 jsumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp

△疥癬に注意しましょう！△

令和8年6月に、管内の高齢者福祉施設から疥癬の集団発生が1件ありました。
疥癬は、ダニの一種であるヒゼンダニによって引き起こされる疾患であり、「**通常疥癬**」「**角化型疥癬（ノルウェー疥癬）**」の2種類があります。「通常疥癬」は感染力は比較的弱いのですが、放っておくと角化型疥癬に悪化することがあります。**角化型疥癬は非常に感染力が強く、集団感染を引き起こす可能性があります。**

通常疥癬と角化型疥癬の違い

	通常疥癬	角化型疥癬
ヒゼンダニの数	数十匹以上	100万~200万
患者の免疫力（病気一般に対する抵抗力）	正常	低下している
感染力（他人へうつす力）	弱い	強い
主な症状	・ 赤いブツブツ（丘疹、結節） ・ 疥癬トンネル（手のひらや手指間にみられる線状の皮疹）	・ 厚いあか（垢）が増えたような状態（角質増殖） 
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

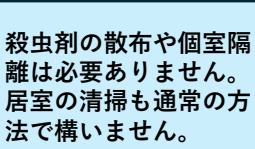
表および画像は国立感染症研究所「疥癬とは」より引用、編集
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/380-itch-intro.html>

施設にこのような方はいませんか？

- ・ 数か月前から皮膚のかゆみを訴えている。特に夜間になるとかゆみが強くなる。
 - ・ かゆみなどの皮膚症状があり、皮膚科で薬を処方され使用しているが、**なかなか症状が改善しない（特にステロイドのお薬を使用している場合は、疥癬の悪化につながる可能性もあります。）**
- もしかしたら疥癬かもしれません。**すみやかに皮膚科を受診しましょう。**



疥癬と診断されたときの感染対策

通常疥癬の場合	角化型疥癬の場合
 標準予防策の継続	 使い捨てのガウンや手袋の着用
 バスマット・タオル等は共用しない	 1～2週間は個室隔離
 シーツ・衣類等の交換（入浴後・内服後等）	 シーツ・衣類等の交換（個室隔離中は毎日）
 洗濯物は容器に入れて持ち運ぶ（洗濯は通常の方法でよい）	 シーツ・衣類はポリ袋に入れて運ぶ
 施設のユニフォームは家に持ち帰らない	 殺虫剤の散布（個室隔離前後） 掃除機かけ（隔離中は毎日）
 殺虫剤の散布や個室隔離は必要ありません。 居室の清掃も通常の方法で構いません。	 洗濯前に50℃10分の熱湯消毒 または殺虫剤散布

施設内で疥癬と疑われる方が増加したら、夷隅保健所までご連絡をお願いします。TEL:0470-73-0145